



谷口雅春先生の御教えを正しく受け継ぎ 次世代に繋ごう

春号 (NO.16)

令和2年3月1日

躍進する生長の家社会事業団

公益財団法人
生長の家社会事業団

〒 186-0003
東京都国立市富士見台 2 丁目 39-1
TEL : 042-843-0075
FAX: 042-843-0076

『今月拝読の真理の言葉』一聲に出してお読みください。

三月 弥々生うるいのち

谷口雅春先生

よろこび、よろこぶところに喜びが集まつてくる。昨日もよろこび、今日もよろこび、明日もよろこぶ。よろこぶ心で世界を見ればみんながよろこんでいる。お空がよろこび、空気がよろこび、光線がよろこび、新緑がよろこび、小鳥がよろこび、鳩がよろこび、人間がよろこんでいる。心がよろこべば、太陽が万物に照つたように万物が輝いて見える。心が暗くなれば、太陽が陰つたようすに万物が暗く見える。わたしの仕事はただよろこぶことだけである。(二月二十八日の章)

*

明るさはあらゆるものに喜ばれる。招かれないと明るい人は、光線のようにどこへ行つてもそこで喜ばれる。招かれても暗い人は、どこへ行つてもやがては嫌われる。
明るい人には常に幸福がつき纏い、暗い人には常に不幸がつきまとふ。(「三月五日」の章)

*

心をしつかりと持つこと。上の者を尊敬すること。下の者をかわいがること。夫婦仲よくすること。腹を立てぬこと。悲しまぬこと。取越し苦労せぬこと。あたりまえのことだと馬鹿にせぬこと。あたりまえのことができるものが大賢人である。これをあたりまえのことだと軽蔑する者よ。お身たちはこのあたりまえがどれほどの程度にできているか。(「三月十五日」の章)

皆さまにお気に召すようにお化粧してまいりましょう。この心がけに家庭平和の秘訣もあれば、商売繁昌の秘訣もある。皆さまを喜ばす心がけが中心となる、技巧に走れば虚飾になる。(三月十七日の章)

(出典『生命の實相』頭注版第三十七巻)

立教九十周年！『生命の實相』拝読 聖経『甘露の法雨』読誦を！！



谷口雅春先生は、「人間が今日あるのも、ただひとり、自分の力で此処に生れ出ているのではない。花には、幹があり、根がある。花には、幹があり、根がある。」
こうして、人間には父母があり、祖先があり、祖先のもとには神様があります。祖先のいのちが自分に通じていて人間は生きているのです。ですから神様に感謝しなければならぬ。祖先に感謝しなければならぬ。父母に感謝しなければならぬ。感謝する事が、自分の「いのち」の根に養分をやることになります。



◆生長の家社会事業団は、毎月原則第三日曜日午前11時より、物故者顕彰慰靈事業（定款第4条第2号）として「物故者顕彰慰靈・先祖供養祭」を行っています。（全国練成会のある月は練成会の中で行います。）

谷口雅春先生は、「人間が今日あるのも、ただひとり、自分の力で此処に生れ出ているのではない。花には、幹があり、根がある。花には、幹があり、根がある。」
こうして、人間には父母があり、祖先があり、祖先のもとには神様があります。祖先のいのちが自分に通じていて人間は生きているのです。ですから神様に感謝しなければならぬ。祖先に感謝しなければならぬ。父母に感謝しなければならぬ。感謝する事が、自分の「いのち」の根に養分をやることになります。

三月は彼岸の月です。供養もされないよう、多くの靈牌（供養される方を記載する紙）をお祀りしましょう。

第5回 谷口雅春先生報恩 全国練成会

にぎっていた過去を脱ぎ捨て 今を生きる!



拝んで拝んで、笑って笑って、感謝して感謝して！皆でここから出発！（大道場で記念写真）

令和二年が明けた一月二十四日から二十六日まで谷口雅春先生報恩全国練成道場において練成会を開催しました。北は岩手県から南は鹿児島県まで全国から132名が参加。18才から86才まで真理にどっぷりかかる三日間でした。

——先祖供養祭、浄心行、祈り合いの神想観は無論のこと、講話を聴いていても聖歌を歌つても、ただただ涙流れ、心洗われ、魂淨まる練成会でした——

ただただ涙流れ、谷口雅春先生の靈的祝福につつまれて

講師による体験講話



福岡県 吉田清美（69歳）

私は小さいころより信心深い母の姿を見て育つたせい。しかし社会に出ると、もつと具体的で人生のバイブルになるような教えはないかと探すようになりました。

28歳で結婚し、育児に疲れた

せいもあり、無性に真理のお話が聴きたかったのです。

その頃は団地にいましたので色々な宗教の方が伝道にみえます。私は一度も断らず全部話を聴きました。一番熱心だったのはS学会の方々で、朝から晩から来て、最後には福岡県で一番偉い人達が来られました。私が「高校の時に洗礼を受けました」と言うと「洗礼ってキリスト教ですか、そんな碟にあつたような宗教は地獄に落ちますよ」とけなされ、「母が般若心経をあげていたので私もあげています」と

返され「自分のところに入らんと救われん」と言うのです。『ではS学会でない人はみんな救われんですか』と聞いたと、シーンとなつて「吉田さん、私どもがあなたにお伝えすることは何もございません」と言つて、さつと帰られました。それで私は「ここにあるりんごでしよう」と言わされました。それでも何にもならんですばい」と

あきらめかけた頃、料理教室で一緒だった方から生長の料理教室で一緒にいた方から生長の

家の集まりに誘われ、行つてみると講師の先生が黒板に「万教歸一」と漢字4つを書かれました。この時私は「これだ！やつと巡り会えた」と思いました。司会の水本洋子先生に「子どもが小さいので、うちへ来て教えていただけませんか」とお願いしたところ、快く家まで毎週来てください、招神歌や氣合いのかけ方や、『生命の實相』を1巻からゆっくり教えてください、本当に至福の時間でした。

それから10年ほどたったある日のことで、友人から一枚のプリントを見せられ、震いするほど驚きました。それに「吾、神を選びしにあらず、神、吾を選びしなり」と書いてありました。

平成13年『無限』の安東巖先生のご文章でした。その中に「ある人がある宗教の信者となるのは深い深い神縁があることでありまして、人間の方から、自分の知恵分別によってその宗教を善いと判断して入信したように見えますけれども、決してそのような自分の知恵分別によって信仰に入つたのではない！」との谷口雅春先生の御言葉がありました。私は自分が神様を求め求めて生長の家にたどり着いたと思っていましたが、神様がこんな私を選んでくださつたんだと本当に難く思いました。

主人は45歳のときに業務用繊維の卸売の会社を立ち上げ、当時、業界では誰もやっていなかつたインターネットを通しての仕事を始めました。思えばこれも又、神様のお導きでした。今は息子が二代目社長としてがんばつてくれています。おかげで私は自由にどこへでも行けるようになりました。そしてこの谷口雅春先生報恩全国練成会で神様のお仕事をさせていただきましたが、私の「人生の黄金期」です。

参加者の発表より

自分の内なる光にふれるよろこびを今、素直に感じて

石川県 通善好昭



初笑い大会で見事優勝!

癌で手術をしましたが、先月の検診で肺に転移していると言わされました。以前、生長の家を熱心にしている親戚

から“病気は心がつくる”と聞いたので、それはどういうことか確かめるため、生長の家の練成会に初めて参加しました。私はこれまで父母に感謝するなんて考えたこともなく、末っ子で甘えて育ち、逆に父母に冷たくふるまつっていました。けれど昨夜の浄心行で初めて、生んでくれて、育ってくれて、優しく愛してくれた父母に感謝の思いがこみ上げました。人前で泣くことは絶対嫌だと思っていましたが、そんなこと言つておられなくなつて泣いてしまいました。この練成会で、自分の内なる光（神の子の生命）にふれるよろこびを、今、素直に感じています。次ぎの練成会にも参加して、自分の心を磨き、もつともっと光る自分になりたいと思います。

よろこびの感想文より
健康を思い詰めれば健康が現れてくる

この練成会に参加した動機は、現在腎臓が悪く、毎月の血液検査でクレアチニンの数値が急に上がつて、「透析」になるかもしれないという恐怖を覚え、その

解決のためでした。

一日目の安東先生のご講話の中で、「人生は思いつめたものが現れてくる」ということを教えていただきました。確かに私は検査の数値ばかり気にして、病気のことばかり思い詰めていました。だから余計それが現れてくると納得しました。

そして、健康をいつも思い詰めれば健康が現れてくると見事に解決方法を教えられました。今から「私は神の子円満完全、益々健康、健康そのものである。嬉しい、楽しい、有難い」と唱えていました。

過去は脱ぎ捨て新たな心で

宮城県 佐々木恵子

この練成会に参加したきっかけは息子男の嫁として嫁ぎ、舅姑の目を気にしながら家業を手伝い、子ども達のために頑張ってきた人生でした。しかし、自分の心の奥に、嫁として頑張ってきた私を誰も認めてくれない孤独感や、自分だけが頑張ってきたという傲慢な心、積もり積もった恨みがあるなあと思いました。その思いを浄心行用紙に思いっきり書き、「お父さん、お母さん」と呼んでいると、小さい子どもの頃に母の腕に抱かれる感触を実感し、自分は愛されて育てられたなあとthoughtしました。

そして、三日目の祈り合いの神想観では前に出て祈つていただいているとき「ああ、この息子であつて良かった、私はなんて幸せだったんだろう」とありがたさでいっぱいになりました。結語で教えていただいたように、過去は脱ぎ捨て、新たな心で頑張つていきたいと思います。

鎮護国家をはじめ多くの方々の幸せを祈る

「神癒・聖經供養」祈願

谷口雅春先生報恩全国練成道場の拝殿において、毎朝9時から聖經『甘露の法雨』の三巻連続読誦と、お一人お一人の「実相円満誦行」を行っています。

どなたでもお申込みいただけます。



鎮護国家（天皇国日本実相顯現）、病気・怪我の快癒、健康長寿、事業繁栄、試験合格、良縁成就、子宝、安産、その他心願成就。

家族にも心配をかけてきました。
そのような中、平成29年夏「生長の家教義」研修講座を受講し講師を拝命。その後「神癒・聖經供養」に良縁成就の祈願をお願いしました。

すると平成30年夏、実母の両親の法事で佐賀県に帰省して親戚の方等にお会いした時、今まで実の妹のように接していた従妹のことが凄く気になる存在となり、思っていましてが、何度もデートを重ねて行くうちに、従妹にも自分の想いが伝わるようになり、令和2年5月30日に結婚することになりました。

「神癒・聖經供養」による祈願が、従妹との共通のご先祖様の法事の際に交際の話をさせて頂いたことは、とてもなく深い神縁を賜わったとしか思えません。本当に有難うございました。（45歳・男性）

「聖使命奉讃会」による祈願が、従妹の「聖使命奉讃会」に入会されると、自筆で書いていた「誠魂」は、「聖使命菩薩」として谷口雅春先生報恩全国練成道場の實相額の前の宝筐に奉安されます。

入会を希望される方は、当法人あてにご連絡ください。必要書類をお届けいたします。

ご献資いただいた会費は、谷口雅春先生から託された聖なる使命実現のため、公益目的事業等に使われます。

△奉讚会費

個人 每月一口千円
法人・事業所 每月一口五千円

3 「仕事」がおもしろくない人は、その仕事に自分の生命を打ち込まないからである。自己創造をしないからである。いかなる仕事の中にも自己創造ができる。仕事に愛を持つとき、愛は生み出す力であるから自己創造となる。（『生命的實相』頭注版第37巻より）

『生命の實相』・聖經『甘露の法雨』を護持し、正しい「生長の家」を次世代につなぐ

献資御奉讚にご協力ください!!

生長の家社会事業団では、谷口雅春先生の正しいみ教えを次世代につなぐため五つの創立記念事業を行っています。

①聖典『生命の實相』、聖經『甘露の法雨』を永遠に護り抜く、②谷口雅春先生報恩全国練成会の開催、③「生長の家教義」研修講座と青少年練成会の全国展開、④「児童養護施設生長の家神の国寮」の運営、⑤「谷口雅春先生記念図書資料館」の充実拡大。

これらの事業は皆様の尊いご献資で支えられています。どうか1口33万円の特別献資(分割也可)にご協力ください。

五つの事業を支える奉讚者490名御芳名

これまで献資下さった方々の御芳名を謹んで記載させていただき、深甚の感謝を捧げさせていただきます。

「谷口雅春先生記念図書資料館」定期一般開館のお知らせ

定期一般開館のお知らせ



谷口雅春先生記念図書資料館は、これまで閲覧希望者があるごとに随時の開館としていましたが、本年4月より、原則毎月第一・第三木曜日を定期一般開館日いたします。

近くにお越しの際は是非お立ち寄り下さい。谷口雅

春先生の全聖典と昭和10年以降のほぼ全ての神誌が閲覧できます。

△4月の開館日

4月2日・16日
午前11時～午後3時
△所在地▽東京都国立市
富士見台三丁目
31・14

3月の行事日程

日程	行事	時間	場所
1日(日)	月初め感謝祭 聖使命感謝奉納祭	8時～8時30分 10時30分～11時30分	図書資料館 全国練成道場
15日(日)	物故者顕彰慰靈 先祖供養祭	11時～12時30分	全国練成道場
22日(日)	谷口雅春先生謝恩祭 新編『生命の實相』輪読会	8時～8時30分 13時30分～	図書資料館

◆毎朝9時～10時20分に「神癒・聖經供養」を谷口雅春先生報恩全国練成道場において行っています。自由にご参加ください。

4月の行事日程

日程	行事	時間	場所
1日(水)	月初め感謝祭 聖使命感謝奉納祭	8時～8時30分 10時30分～11時30分	図書資料館 全国練成道場
22日(水)	谷口雅春先生謝恩祭 新編『生命の實相』輪読会	8時～8時30分 13時30分～	図書資料館
26日(日)	物故者顕彰慰靈 先祖供養祭	11時～12時30分	全国練成道場

次の「谷口雅春先生報恩全国練成会」は
6月26日(金)～28日(日)です。

【税務上の特典】生長の家社会事業団への寄付は、税制上の優遇措置(税額控除等)の対象となります。

令和二年三月一日は、
尊師谷口雅春先生が人
類救済の道を希求され
全身全靈で徹底した求
道と深い思索を経て生
長の家大神(住吉大神)
より神啓を受けられ生
長の家の教えを立教さ
れてより満九十年の慶
賀の日です。

尊師は神授の教えを聖
典『生命の實相』と聖
經『甘露の法雨』に凝縮
されました。昭和七年一
月十一日神示の「聲字即
露の法雨」讀誦を日々実
践しましよう。

(理事長久保文剛)

多くの人が貧しいのは、第一家庭の調和を欠いていること。祖先の祭祀が足りないので祖先の守護の足りないこと。家族の不調和と祖先の祭祀の不足とで、その人が外に出ても自分の身辺に漂うている雰囲気が棘々しくて、他から好意を持たれないとなどである。(『生命の實相』頭注版第37巻より)